



防災カフェ ☕ — 台風の季節が到来 —

「コイヌ」「ヤギ」「ウサギ」…なんとも可愛い名称ですが、これらは北西太平洋または南シナ海の領域で発生する台風につけられるもので、全部で140個の名称があります。甚大な被害をもたらす台風には似合わない名称もありますが、アジア人になじみのある呼び名をつけることによって、人々の防災意識を高めることも一つの目的とされています。

ところで、8月から9月にかけては1年で最も多く台風が発生、接近、上陸する時期です。なじみのある呼び名が付けられた台風の動きをチェックして、暴風雨に伴う水害や土砂災害等から身を守る行動を取るようにしましょう。気象庁では、最大5日（120時間）先までの台風の予報を発表していますので、その情報を十分に活用してください。

台風は日本付近を北上するにつれ「温帯低気圧」に変化しますが、台風が運んできた暖気と北の寒気が混ざり合うことで再び急速に発達して、広い範囲で風や雨が強まることがあるので注意が必要です。また、台風がそのまま



衰えて「熱帯低気圧」に変わる場合もありますが、この場合は最大風速が17m/s未満になっただけで、強い雨が降ることがありますので「温帯低気圧」「熱帯低気圧」いずれの場合も消滅するまでは油断しないようにしてください。

8月は、芦別にも大きな被害をもたらした56水害が発生した月です。災害は必ずやってくる考え、台風や低気圧などの接近が予想されるときは、気象情報などをこまめにチェックするとともに、大雨による災害発生危険度の高まりを地図上で確認できる「危険度分布」（愛称：キキクル）を利用するなどして、今後の気象状況や周囲の危険度を確認して、空振りを恐れず、早い段階から身を守る行動を行いましょう。

◎気象庁HP／大雨警報（土砂災害）の危険度分布（土砂キキクル）

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>

※こちらから浸水害、洪水害の危険度分布も確認できます。

●詳細 危機対策係 ☎27-7058



防災展示の開催

「防災の日」（毎年9月1日）を含む1週間は「防災週間」とされているのに合わせ、防災に関する展示を市立図書館で開催します。

災害備蓄品の展示やパンフレットの配布などを行いますので、お気軽にご来場ください。

○期間 8月19日（金）～9月11日（日）の図書館開館日

○時間 午前9時30分～午後6時

○場所 市立図書館一般閲覧室

※新型コロナウイルス感染拡大や災害の発生状況等により、中止または延期になる場合は、市ホームページ等でお知らせします。

●詳細 危機対策係 ☎27-7058

電気火災を防ごう

電気は、私たちの日常生活において必要不可欠なエネルギーとして社会の隅々まで深く浸透しています。そんな身近な電気製品ですが、使用者の不注意や誤った方法により使用した場合は、火災につながるおそれがあります。電気製品を使用する際には、次のことに注意しましょう。

○電気火災を防ぐポイント ①使用しないときには、コンセントから抜く②たこ足配線は、絶対にやらない③差込みプラグに付着したほこりなどは取り除く④傷んだコードは使用しない⑤コードは束ねた状態で使用しない。

●詳細 芦別消防署保安係

☎22-3106

芦別消防団員を募集

芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。

年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば性別を問わず入団できます（高等学校在学中のかたは入団できません）。

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の捜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106